

ヒメジのヒゲ

ヒメジの仲間は、口の下によく目立つヒゲをもっています。

このヒゲは餌を探す時に役立ちます。

ヒメジの仲間は、口の下に2本のヒゲをもった、ユーモラスな姿をしています。そのため、中にはオキナヒメジ(翁^{おきな}ヒメジ)やオジサンといった、ヒゲにちなんだ名前が付けられた種もあります。

しかし、このヒゲは飾りではなく、ヒメジにとってなくてはならないものです。なぜなら、彼らはこのヒゲを使って餌を探すからです。

ヒメジの仲間は、海底を泳ぎ回りながら、砂の中に隠れているエビ・カニやゴカイなどの小さな生き物を見つけて食べます。このときこのヒゲが役に立ちます。というのは、ヒゲの表面には、味^{みらい}蓄^{した}(舌の表面にある、味を感じる感覚器^{かんかくき})に似た構造があり、このヒゲで味を感じることができるので、ヒゲを使って砂の中の「おいしい食べ物」を探ることができるからです。ですから、彼らが餌を探しているときは、ヒゲをさかんに動かしながら海底を泳ぎ回っています。

ヒメジの仲間

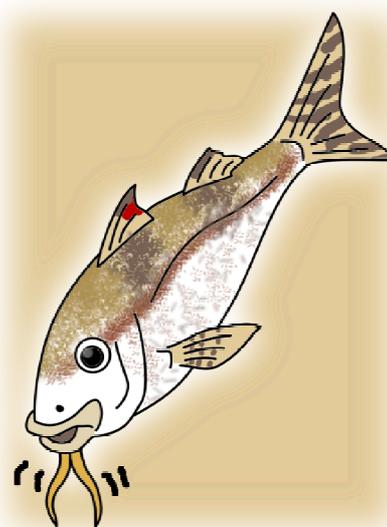


オキナヒメジ(幼魚)



ヨメヒメジ

ヒメジの仲間は、日本近海では約20種が知られており、すべて口の下に2本のヒゲを持っている



砂の中に住んでいるエビ・カニやゴカイなどを食べるが、これらの餌をさがす時にヒゲを使うヒゲは人間の舌のような機能を持ち、砂の中の餌を見つけることができる